（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十七年八月十八日　（金曜日）　臺灣日日新報　第一万五千二百四十五號　A　（一）

夕刊　臺灣新民報

八月十三日　一部二錢

臺灣日日新報社　臺北市榮町一丁目一番地　電話（三）一一一番

コロムビア　十周年記念

赤軍捕虜百四萬四千
戰車六千餘臺を鹵獲
ケルチ獨軍綜合戰果

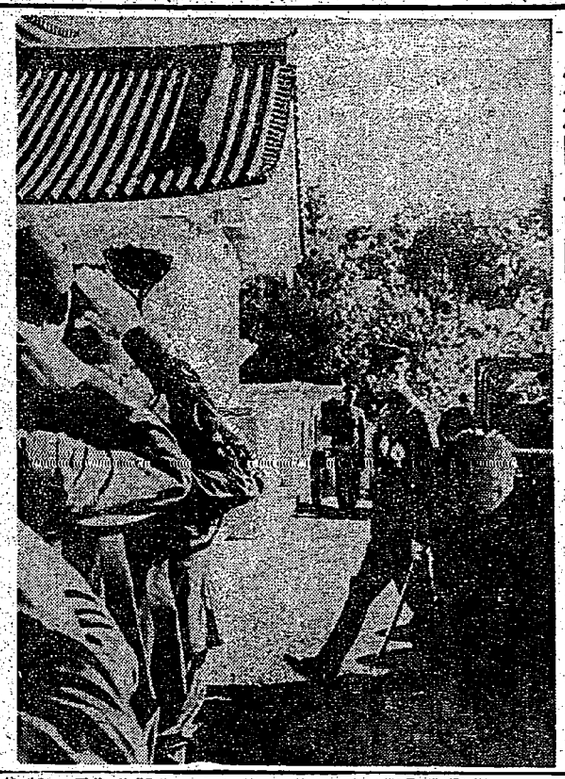
【ベルリン十二日發同盟】獨逸軍は二日半に亘る激戰の後ケルチ半島の東部を完全に占領した、ケルチ方面獨逸軍總司令官マンシュタイン將軍は十二日ケルチ方面の戰果を次の如く發表した

一、ケルチ方面獨逸軍總司令官マンシュタイン將軍は十二日ケルチ方面の戰果を次の如く發表した

一、ケルチ半島の東部に於ける掃蕩戰は十二日午後に終了

滿洲國皇帝陛下

日滿交驩武道大會に御臨、御宮眞は武殿御着



劍潭の杜深く鎭まる
〝神なる父〟に對面
光榮の參拜資格者決る

『全島遺兒の日』

【台北市十三日發同盟】大東亞戰爭に父を失つた全島遺兒の參拜資格者は左記の二十八名に決まり、本人參拜者を含む關係者を通じ夫々通知を發したが、當日の參拜者たちは神々しい感激に胸を躍らせて久しい間待ちに待つてゐるわが日を指折り數へて待ちわびてゐる。本人參拜者を目的としてゐるので今後の增加は絶對にないとのことである。

草山　參拜當日當局では四月頃より各地の遺兒をあつめ參拜の心得などを懇切丁寧に說いてゐるが、なほ（缺）は（缺）參拜當日參拜へ

▲北市（缺）

▲新竹市　小島勇治、岡田保美（以上未）

▲大甲街　關關重男子（四）

▲北斗郡　關口公代（四）

▲新高郡　吉原靜江、關野好太郎（未）

▲嘉義市　植祥、吉野勝男、大澤慶貴（以上四）

▲新高郡　宮崎保、藤本育（以上四）

▲斗六街　西山龍夫（未）

▲嘉義郡　林政夫、太田智德、岡井百一、小川保男、高城盛（以上四）吉田賢、辻本忠等、川崎勇子、太田和子、岡田淑子（以上未）

▲新竹郡　赤間省吾（未）

▲北斗郡　高橋榮一（未）

▲新高郡　高橋和子（以上四）

▲岡山郡　高橋和子（以上四）

上海戰勃發日迎へ
邦人の感激新た
上海・赤誠溢るる記念行事展開

【上海十三日發同盟】大東亞戰爭勃發を迎へた滿五周年・二度目の開戰記念日は十三日朝より十萬邦人の感激と感謝に溢れた記念行事が展開された。

即ち午前八時より上海神社參拜團の參拜を行はれ、次いで八時半より同所で在留邦人總參拜が行はれ、引續いて十時半より同所で在留日本陸海軍將兵の慰靈祭が行はれ、午後一時より上海陸軍病院の英靈室に於て傷病將兵慰問會が催された。

尙午前十時より上海支部その他の各支部、分會に於ても記念行事が行はれ正午には日本全國各地と共に上海各地に午砲が轟き、全市擧つて感激の一日を送つた。

【上海十三日發同盟】サイゴンの佛印軍司令部は去る七月二十八日附を以て、二國間の國交調整に關し、

一、二國間の國境は現狀を維持すること

二、佛印は日本軍の佛印進駐に關し、あらゆる便宜を與へること

三、日本軍は佛印の防衛に協力すること

四、日本軍は佛印の領土、主權を尊重すること

五、日本軍は佛印の資源を開發するに當り、佛印側に協力すること

六、日本軍は佛印の軍隊を日本軍の指揮下に入れること

七、日本軍は佛印の軍隊を日本軍の指揮下に入れること

八、日本軍は佛印の軍隊を日本軍の指揮下に入れること

の九項目に亙る日佛軍事協定を締結した。

暑休も、日曜もない
海南師範校の生徒
速成教育終へ近く卒業

海南島師範學校では、本島教育の普及徹底を期するため、昭和十六年四月開校以來、第一部（本科）第二部（講習科）の二部教育を行ひ、第一部は小學校教員養成、第二部は小學校教員の再教育を目的として、それぞれ教育に從事してゐるが、第一部は昭和十七年三月を以て第一回卒業生を出すことになつたので、第二部は第一部卒業生の速成教育を行ふことになつた。

第一部は昭和十六年四月第一回生として入學した生徒百五十名が、二年間の課程を終へ、來る三月末日卒業することになつたが、第二部は第一部卒業生の速成教育を行ふため、昭和十六年十月第一回生として入學した生徒百五十名が、來る九月末日卒業することになつたが、第一部は二年間の課程を終へ、來る三月末日卒業することになつたが、第二部は第一部卒業生の速成教育を行ふため、昭和十六年十月第一回生として入學した生徒百五十名が、來る九月末日卒業することになつたが、

生徒の數は百五十名宛であるが、各地に配置されることなので、卒業後の生徒の數は、第一部が二百名、第二部が百五十名、合計三百五十名となつてゐる。

勉學を續けてゐる、若い生徒たちは、卒業と同時に各地に配置されるらしいが、南進の發展に伴つてゐる今日、これらの生徒は、二重、三重の重要な使命を帶びて、それぞれ赴任することになつてゐる。

教育する師範學校の生徒は、將來の國家の基礎を作る大切な人物であるので、入學試驗は、中學校の卒業生の中から、特に優秀な者を選んで入學させてゐるが、第一部は、第二部の生徒は、第一部卒業生の中から、特に優秀な者を選んで入學させてゐるが、第一部は、第二部の生徒は、第一部卒業生の中から、特に優秀な者を選んで入學させてゐるが、

生徒の數は、第一部が二百名、第二部が百五十名、合計三百五十名となつてゐる。

勉學を續けてゐる、若い生徒たちは、卒業と同時に各地に配置されることなので、卒業後の生徒の數は、第一部が二百名、第二部が百五十名、合計三百五十名となつてゐる。

獨逸も〝生めよ殖せよ〟
姙娠率向上に科學を總動員

イツ民族にとつてはこれは由なしことゝまるの今度獨逸全國の婦人科醫に總動員令を發し、科學的方法を以て出生率の向上を圖ることゝなつた。

これまでイツ婦人の姙娠率向上については、ナチス政府の支配者ヒットラーの下に「中央健康指導局」で研究中であつたが、その結果、出生率向上には、從來の方法を改めて、科學的に指導することが最も有效であるとの結論に達したので、今回の總動員令となつたものと見られてゐる。

山內警務局長
新竹市內巡視

【新竹特電】山內警務局長は十三日午前十一時四十五分着十一列車で來新、新竹署長、警務課長等の出迎へを受けて市內巡視の後、午後一時より新竹州廳會議室に於て管內警察官會同を開き、午後三時四十五分發の列車で歸任した。

草取り男女童の奉仕作業
僕らなりがら

【新竹特電】新竹州廳では、來る十五日を期し、州下一齊に草取り奉仕作業を行ふことゝなつたが、當日は午前六時から正午まで、官公署、學校、會社、銀行、商店、一般家庭等州下全部が一齊に草取りに從事することゝなつてゐる。

佟に代りお國の爲に
故乃一進中尉母堂　遺品の雙眼鏡を獻納

故乃一進中尉の母堂が遺品の雙眼鏡を獻納

百貨店の飾棚は
日本品で埋まる
「森の石松」を買ふ安南人

【サイゴン十日發同盟】サイゴンの佛印人經營の百貨店カトルズ・ジュインにフランス人及日本人の商店も軒を並べてゐるが、一、二兩月の間に急激に變化してゐる。

商品は全部日本製

まる六月十四日のフランス人祭日には、佛印人の間に愛用されてゐるフランス人經營の百貨店カトルズ・ジュインにフランス人の商店も軒を並べてゐるが、一、二兩月の間に急激に變化してゐる。

えたかと思はれる程、從來はフランス人經營の百貨店の飾棚は日本製品で埋まつてゐる。

アラン・マガザンの名稱で知られた二十五萬平方米の廣大な敷地には、化粧品のマーク、スキートピー、三越、トート、長崎には四のマークがついてゐる。

二十五萬平方米の廣大な敷地には、化粧品のマーク、スキートピー、三越、トート、長崎には四のマークがついてゐる。

親切になつた佛人

フランス人はいろいろとところが變つたり安南人も支那の大部分が變り日、佛、安、華、印等各人種が一つのテーブルを圍んでビールを飲んだりする風景が見られる。

片假名の進出

各機關の整備全く成る
目立つ片假名の進出
巻のヤビタパ

【パタビヤ十一日發同盟】蘭印パタビヤの商業、パタビヤの商業地區、殊に日本人經營店は、日本軍進駐以來、その數を增し、その他米濠の日用品を販賣して居り、その他米濠の日用品を販賣して居り、

片假名の進出

各機關の整備全く成る
目立つ片假名の進出
巻のヤビタパ

【パタビヤ十一日發同盟】蘭印パタビヤの商業、パタビヤの商業地區、殊に日本人經營店は、日本軍進駐以來、その數を增し、

大東亞の表情（1）

暑休も、日曜もない
海南師範校の生徒
速成教育終へ近く卒業

工員錬成道場新設
東部開發に一石二鳥狙ひ工員養成

大東亞第一回開拓一家族となりの發展しつつあるとき南支及南洋方面に發展する邦人開發者の增加に伴ひ、これら開發者の一般化に資するため皇國精神を基調とする工員錬成道場を新設し、東部開發に一石二鳥を狙ひ工員養成をなすことゝなつた。

獨逸も〝生めよ殖せよ〟
姙娠率向上に科學を總動員

二國志
（赤壁の卷）
吉川英治作
矢野橋村畫

（834）

落風城にて

暑休も、日曜もない
海南師範校の生徒
速成教育終へ近く卒業

工員錬成道場新設
東部開發に一石二鳥狙ひ工員養成

獨逸も〝生めよ殖せよ〟
姙娠率向上に科學を總動員

二國志
（赤壁の卷）
吉川英治作
矢野橋村畫

（834）

落風城にて

臺灣昌新報
日本唯一夕刊
人件費節減

馬來作戰最後の功績

朝井、板家兩小隊に感狀

畏くも上聞に達せらる

【東京發同盟】マレー關門を突破した我が陸軍主力の前に潰走を續けるアーロルスター飛行場に殘敵掃蕩と共に同飛行場に出撃した朝井小隊の勇戰敢闘ぶりは、同小隊を指揮した山下奉文中將より畏くも上聞に達せられ、小隊長朝井中尉以下十名及び同じく板家小隊に對しレンゴールの攻略に參加した山下マレー方面陸軍最高指揮官より感狀が授與せられたが、同小隊の勇戰ぶりは次の如くである

陸軍省發表（八月十三日午後四時）マレー作戰に於て敵軍の有力なる抗戰を破摧せる小隊に對し同方面陸軍最高指揮官山下奉文より感狀が授與せられたり

感狀

渡邊部隊朝井小隊

小隊長陸軍中尉朝井肇以下十名

右は昭和十七年一月十四日マレー半島アロルスター飛行場に於ける敵の逆襲に際し、アロルスター飛行場の守備を擔當しつゝ主力に協同して敵の逆襲を撃破し、出撃の際は常に敵軍に先んじて突入し、敵を壓倒して敵軍の退路を遮斷し、敵軍潰走の原因を作つたる勇戰敢闘は、軍人の模範とするに足るものと認む

昭和十七年二月十五日

マレー方面陸軍最高指揮官 山下奉文

感狀

渡邊部隊板家小隊

右は昭和十七年一月十四日マレー半島アロルスター飛行場に於ける敵の逆襲に際し、アロルスター飛行場の守備を擔當しつゝ主力に協同して敵の逆襲を撃破し、出撃の際は常に敵軍に先んじて突入し、敵を壓倒して敵軍の退路を遮斷し、敵軍潰走の原因を作つたる勇戰敢闘は、軍人の模範とするに足るものと認む

昭和十七年二月十五日

マレー方面陸軍最高指揮官 山下奉文

會議派首腦者 更に五名逮捕

【リスボン十二日發同盟】ニューデリー發報は、これまで英當局がカルカッタに於て國民會議派首腦者五名を更に逮捕したと傳へてゐる

兩助役決定

東京市會

【東京發同盟】東京市助役は十三日午後の市會において市長の推薦する大谷市助役（前内務次官）同會長官房（前警視總監）を正式決定した

御諮詢奉請の方針

行政簡素化の官制改正

【東京發同盟】今回政府が發表した官制改正の方針は次の如くである

一、國家總動員の實を擧げ、戰時行政の運營を圓滑ならしめるため、内閣の統合機能を强化すること

二、内閣の統合機能を强化するため、内閣總理大臣の地位を强化すること

三、内閣總理大臣を輔弼する國務大臣の數は、從來の慣例に從ひ十名以内とすること

四、内閣總理大臣の輔弼機關として、内閣に内閣書記官長一名、内閣副書記官長一名を置くこと

五、地方行政制度の刷新强化

地方行政機關の簡素化、能率の增進を圖ること、地方行政の基本たる府縣、町村制の改正に關する件は、從來の慣例に從ひ、樞密院に諮詢すること

六、教育の革新振興

教育の革新振興については、現時の緊急事態に即應し、從來の教育制度に對し、一層の改善を加へ、特に國民學校の教育は、皇國の道に則り、國民錬成の根本義に基づき、その徹底を圖ること

七、地方財政整備

地方、特に農村經濟に於いて生産力擴充の線に沿ひ、地方財政の整備を圖ること

八、産業關係の調整

中小商工業者の轉業を圖ること

九、交通關係の復舊

交通關係の整備、特に海運の增强を圖ること

十、行政簡素化

行政簡素化については、各般の施策を强力に實行すること

會議派首腦者 更に五名逮捕

【リスボン十二日發同盟】ニューデリー發報は、これまで英當局がカルカッタに於て國民會議派首腦者五名を更に逮捕したと傳へてゐる

兩助役決定

東京市會

【東京發同盟】東京市助役は十三日午後の市會において市長の推薦する大谷市助役（前内務次官）同會長官房（前警視總監）を正式決定した

建設第二期の比島軍政 根本方針を闡明

第二回地方長官會議 和知軍政監訓示

【マニラ十二日發同盟】和知軍政監部は十一日開催の第二回地方長官會議において次の如き根本方針を闡明した

一、更道劃新

二、行政の積極化

三、治安の維持確保

四、保甲制度の創設

五、地方行政制度の刷新强化

六、教育の革新振興

七、地方財政整備

八、産業關係の調整

九、交通關係の復舊

十、行政簡素化

迫る滿國十周年記念

"慶祝團"の派遣も具體化

今秋式典の盛儀

經濟情勢の重大化 統制會の强化誓ふ

翼政會と農相 官邸夫々移轉

反英抗爭決議

印度獨立聯盟東京支部

農報推進協同隊の編成式

ジャバの精米所

雨季の來臨ジャバはあらゆる點で最適地である、現在既に日本人の經營する精米所が十數箇所も活躍中である、來るべき日の爲め一層の發展を期待されてゐる、尚本所にも若干の餘裕がある、尚本所は原住民に對しても全幅の信用を有するものである（廣告）

愛兒の保險
富國徴兵保險
本社 東京 支社 各地

新發賣
最新除覺醒劑
ピロポン錠
「許特法製」
本劑はd-l-Phenyl-3-methylamino-propanの塩酸塩であつて、次記の如き未だ曾つて知られざる特異なる中樞性興奮作用を有し、倦怠除去、睡氣一掃に驚くべき偉効を奏し、醫界、產業界等あらゆる方面に異常なる注目と愛用を喚起しつゝある最新劑である。
作用
一、本劑は强力なる中樞神經興奮劑にして精神的及び肉体的活動を著明に亢進し判斷力、思考力の增加と体力、作業能の昂揚を來す。
二、疲勞を強ひ防或は除去し、又沈鬱、不安を一掃し、元氣を恢復し、氣分を爽快にする。
三、特異にして强度の睡眠除去、催眠作用がありて、不快感の少しもない不眠狀態とする。
適應症
一、過度の肉体及び精神活動時
二、徹夜、夜間作業、その他睡眠除去をもとめらるゝ時
三、疲勞、宿酔、乘物酔
四、各種憂鬱症
製劑
錠劑 一瓶中0.00（五〇錠入）五〇〇錠
（散劑・注射劑あり）
本社、大阪市道修町
製造發賣元 大日本製藥株式會社
各地販賣店にもあり、詳細の説明書を呈す
大阪出張所 大阪市北區堂島中一丁目
東京出張所 東京市本町

急性 慢性
膿漏性 耳炎 中耳炎
丹毒 瞼腫 淋巴腺炎
扁桃腺炎 急慢性淋疾
鼻人科化膿症
諸名科化膿症の消炎劑に直接作用して之を克服し治癒を促進する。
ルジバルア錠
劑ドミアンオフルズ基二・内之山
大阪 内之山製藥株式會社 東京

健腦丸
腦病神經病良劑
腦の疲れをサラリと一掃
頭を輕くハツキリする
安眠、便通を快くし
逆上、頭重を解消する
健腦丸の服用こそ
ホントの腦の新体制
K.K.—64

南洋大歌唱
足制音ねがひます
ビクター
滿鐵、滿映、滿蒙開拓青少年義勇軍、滿洲國通信社、滿洲日日新聞社、滿洲日本放送協會、滿洲國文教部、滿洲國機定滿
第七樓よ 朗風に 夢を馳せて 雄飛の大陸 若人の 意氣と情熱 (以下二十二字略)
演出 井口靜夫 大谷冽二
大日本製藥株式會社 大阪市道修町 東京出張所 東京市本町

社說

本島結核豫防施設の進展
保健所法の施行を望む

一

我が國民中、特に肺結核罹患者を絕つて其の根絕を期することは國家百年の大計の爲めに缺くべからざる事業である。從つて其の豫防事業の如きも、從來より各種の方面に於て種々の施設が講ぜられてゐるのであるが、最近人的資源擴充の立場から、此の問題に對する關心が一層强められて來たことは、まことに時宜を得たものと言はねばならない。

二

一方に於て肺結核の發病原因に就ては從來色々と論ぜられてゐるが、最近は榮養の不良が重大なる原因であるとの見方が强くなつて來た。即ち榮養不良の者は肺結核に罹り易く、又罹つた場合には榮養良好の者に比べて病勢の進行が速かであるといふことは、既に多くの學者の認めるところである。從つて肺結核豫防の第一歩は榮養の改善にあるといふことが出來る。

三

肺結核豫防の第二歩は、患者の發見と隔離とである。患者を發見し、これを隔離することによつて、健康者に對する傳染の機會を減少することが出來る。從來我が國に於ては、肺結核患者の發見と隔離とに關しては、殆んど見るべきものがなかつたと言つても過言ではない。

四

肺結核豫防の第三歩は、罹患者の治療である。治療によつて病勢を緩和し、又は治癒せしめることが出來れば、從つて傳染の機會を減少することが出來る。

五

以上述べた三歩は、何れも肺結核豫防の上に缺くことの出來ない重要な事柄であるが、從來我が國に於ては、これ等の施設が全く不充分であつたことは、まことに遺憾とするところである。

六

今回の保健所法の施行は、此の點に關して一大飛躍を試みんとするものであつて、其の意義は極めて重大である。

七

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

八

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

九

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十一

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十二

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十三

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十四

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十五

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十六

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十七

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十八

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

十九

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十一

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十二

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十三

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十四

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十五

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十六

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十七

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十八

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

二十九

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十一

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十二

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十三

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十四

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十五

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十六

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十七

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十八

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

三十九

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十一

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十二

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十三

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十四

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十五

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十六

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十七

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十八

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

四十九

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

五十

保健所は、從來の衞生組合、衞生會、衞生委員等の組織を一元化して、これに强力なる指導機關を與へんとするものであつて、其の活動は、從來の如き消極的なものではなく、積極的に國民の健康增進を圖らんとするものである。

工業臺灣の源動力
大甲溪開發陣を强化
臺電建設局機構內定す

輸送施設一部改變
鐵道、ケーブル、道路の三本建

紅茶を包種茶へ
新竹州下の茶業轉換

貨客連絡運輸取扱
臺灣南部の門戶"高雄港"飛躍

會社從業員の待遇
財務局で官吏と同一取扱

"通信施設"强化擴充
共榮圈縱の通信網完備へ

カナダの經濟價値
(下)
米が接近した根本理由

內外商況
（十三日）

健民運動のために
菅井準二

綠茶界の最高基準品
高雅な香味と明快な色調
明治の茶

水むし
あぶら足……を防ぐ
足の衞生を忘れがちな夏…そのため、水むし　あぶら足に惱む方が多いもの……
これには…毎日"靴下をはく前に滑石粉"を足にふりかければ汗の酸敗をふせぎ、足の衞生は萬全です。
でんぺら

弱い子を丈夫に
お菓子の様なおいしい美味
ビタミンA・D含有
リゼオ糖衣
原工業所藥品

（第三種郵便物認可）

無敵皇軍に感謝披瀝
軍人援護敎化運動展開
十月二日から六日間

【實施大綱】

一、各國一齊に行ふべき事項
イ、各官衙、學校、團體、會社、工場等では十月二日「軍人援護に關する敎育」を實施すること
ロ、四日正午を期し國民は總て戰沒軍人の英靈を追悼し、傷痍軍人の士氣を鼓舞すること
ハ、軍人援護に關する二、軍人援護を目的とする國民の覺悟を昂揚すること
ニ、三〇ことの意義の下に、軍人援護の強化徹底に關する敎育を實施すること

二、軍人援護に關する敎育
イ、軍人援護の意義
ロ、軍人援護の國民に與へられた使命
ハ、軍人援護の具體的方法

三、實施要領
イ、各國一齊に行ふべき事項は各官衙、學校、團體、會社、工場等では十月二日「軍人援護に關する敎育」を實施すること
ロ、各官衙、學校、團體、會社、工場等では十月二日「軍人援護に關する敎育」を實施すること
ハ、各官衙、學校、團體、會社、工場等では十月二日「軍人援護に關する敎育」を實施すること

軍人精神卽ち"勇氣"
軍人に"不運"は無い
陣中日誌に氣魄溢る

朝井中尉

【陸軍省發表】マレー作戰に際し、敵ながらあつぱれと感歎の聲を放つた敵將パーシバル中將の降伏勸告を拒絶した山下軍司令官の決意を傳へた朝井中尉の陣中日誌の一部は次の如くである

田澤氏ら五氏に
銀、木杯を御下賜

【陸軍省發表】陸軍大臣は、左記文武官に對し、銀杯一組を、木杯一組を賜ふ

保護報國の昂揚期し
司法保護週間實施
附隨週間行事は近く決定

南方戰線に武勳赫々
槇島、高田部隊名譽の死歿者

警察官の活動に感服
山內警務局長の初巡視談

青少年體力檢査
臺北州十四日より施行

文藝と映畫のタ
廿一日島都に開催

働く比島女性を尋ねて（下）
打ち切れるやうな健康美
―百貨店の女店員達―

御國の爲、滿足です
感狀に輝く板家氏宅を訪問

主事、敎官發令
拓南産業戰士訓練所

ヨイ子供軍馬慰問
きのふ第三部隊を訪問

臺灣總督府官報

中支の空を快翔の陸鷲

北白川宮家より大阪天滿宮に御下賜になつた故永久王の御愛馬 光秋號

科學技術研究 戰士顯彰大會

御國の爲、滿足です 感狀に輝く板家氏宅を訪問

第三期決算公告

第六回決算公告

大和纖維會社

今日の映畫

臺灣日日新報社

臺灣總督府官報

戰時だ働かう!!

女性ホルモン

カルモチン

ビタミン

キンチスベイ

ルビモティツ

腦力體力強化

抗病ホルモン

カルシン

キンプライ

ヒヤシンス

白鷺

南洲

キンプライ

新人ノ愛品 學生ノ贈品

日本キンプラ株式會社

臺北市太平町二ノ九七 辯護士 竹內吉平 電話七參貳九番

月極購讀一ケ月四拾五錢 發賣所 臺灣日日新報社 島內各地臺日取次店

母井上トシ（故十三日午前五時帝國大學病院ニ於テ死去）

戒名 松月院貞譽妙吉大姉

男 雄治 三夫

男 寶 直武

女 梅子 今朝人

女 能次 尾井・谷藤 代

友 富士島

家族代表者 男 雄治

花道係 男 三夫

告別式 十四日午後一時ヨリ 自宅

葬儀 十五日午後一時ヨリ 自宅

埋葬 十五日午後三時ヨリ 三井家墓地

會葬謝絶

昭和十七年八月十四日

歐洲第二戰線阻止
獨軍英佛海峽を要塞化

【東京特電十三日發】獨逸同盟各國の宣傳相會議は十二日午後ベルリンの獨逸宣傳省に於て開催されたが、獨逸側からはゲッベルス宣傳相、ディートリヒ國民啓蒙宣傳相、ラムメルス内務相、ヒムラー親衛隊全國指導者、ダレー農業相、ヘス總統代理者官房長官、ボルマン黨官房長官、ハンケ獨逸放送局長、ヒトラー青年團指導者シーラッハ、ヒトラー青年團副指導者ユンゲ、ヒトラー青年團全國指導者官房長官ハルトマン、ヒトラー青年團全國指導者官房副長官ヴィルヘルム、ヒトラー青年團全國指導者官房副長官ヴィルヘルム、ヒトラー青年團全國指導者官房副長官ヴィルヘルム